

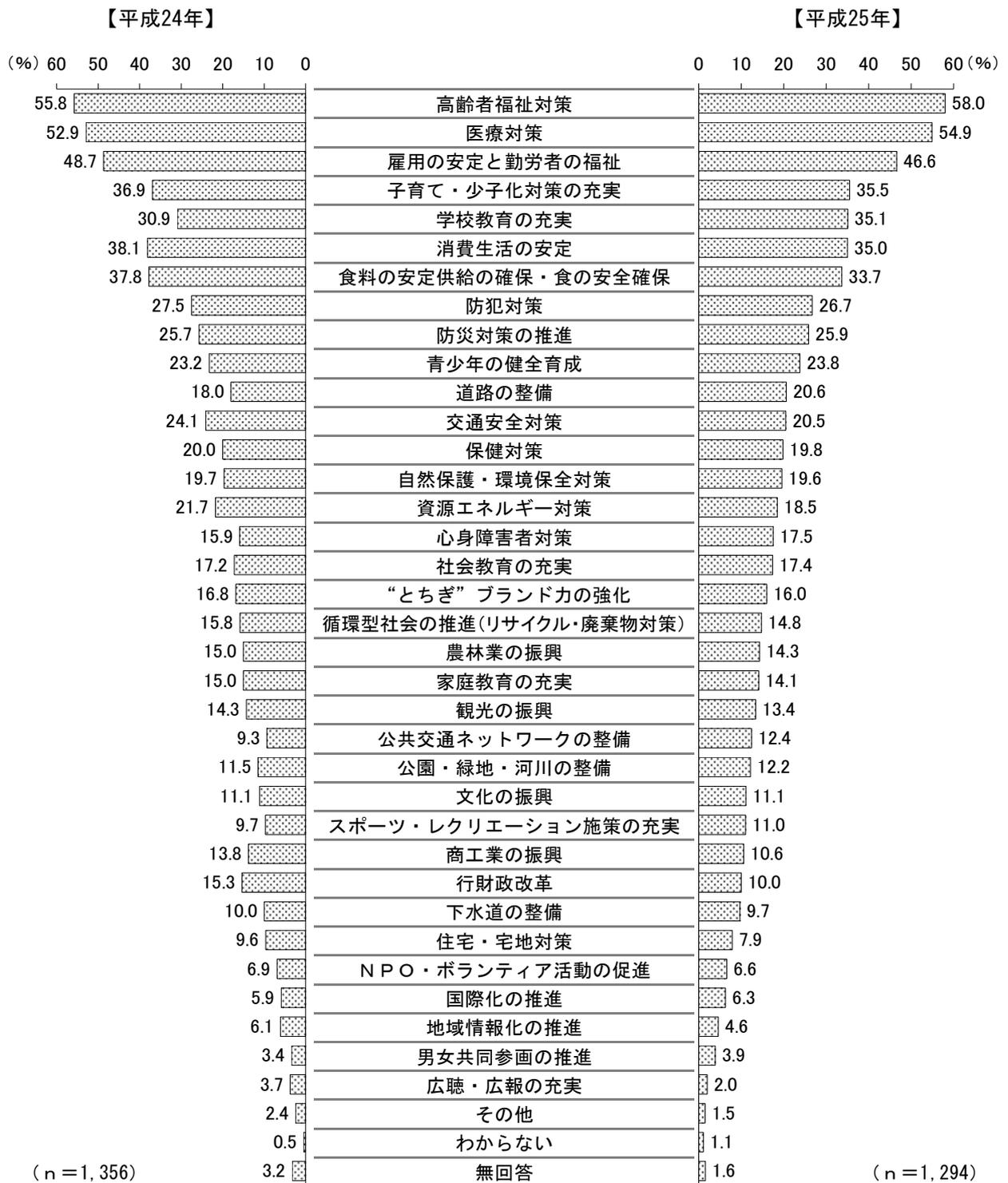
2 県政への要望について

(1) 県政への要望

問5 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら“「安心」「成長」「環境」をともにつくる元気度日本一 栃木県”をめざしていろいろな仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,294]

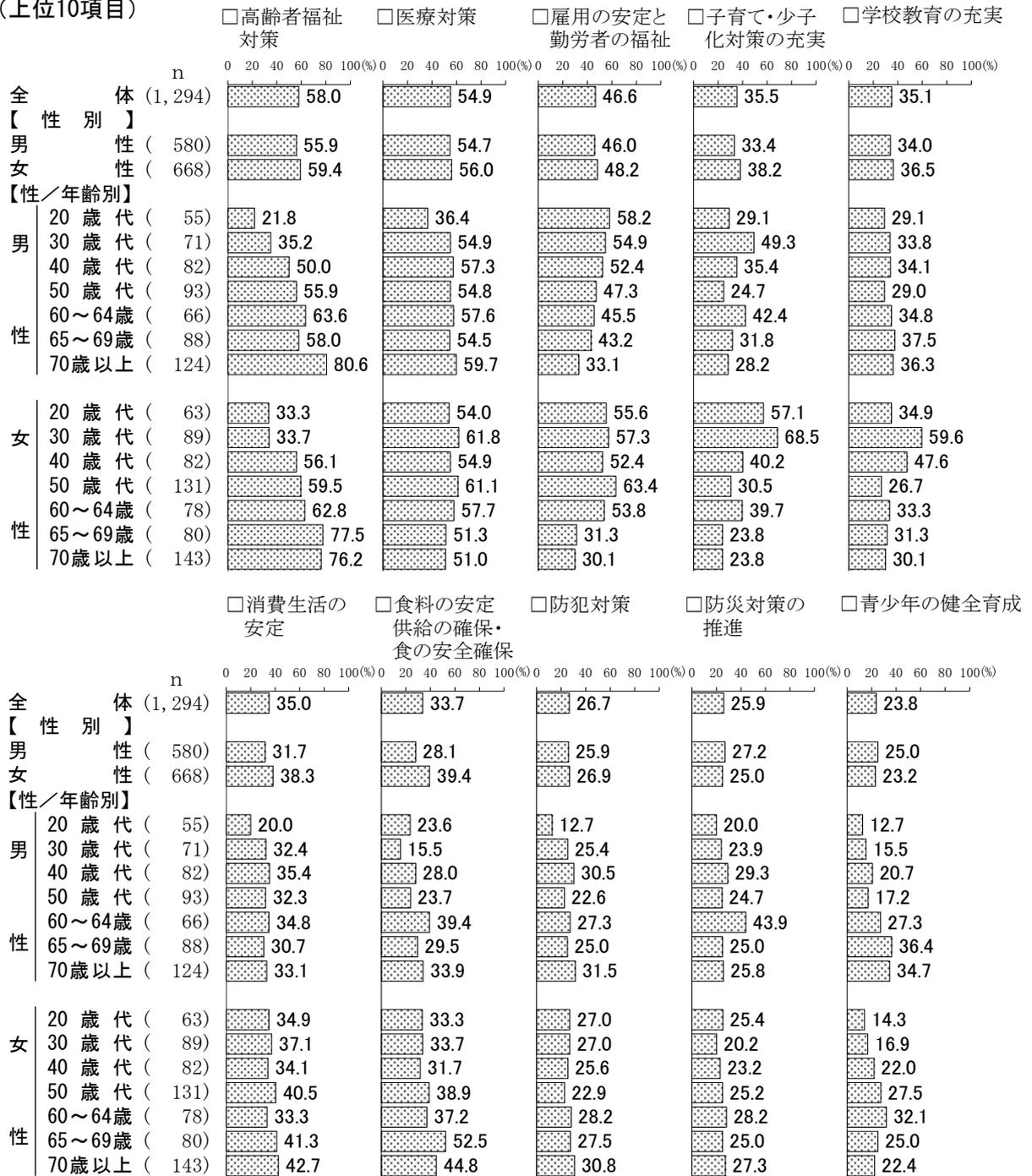
1	学校教育の充実	35.1%
2	青少年の健全育成	23.8
3	家庭教育の充実	14.1
4	社会教育の充実	17.4
5	文化の振興	11.1
6	スポーツ・レクリエーション施策の充実	11.0
7	NPO・ボランティア活動の促進	6.6
8	広聴・広報の充実	2.0
9	国際化の推進	6.3
10	子育て・少子化対策の充実	35.5
11	高齢者福祉対策	58.0
12	心身障害者対策	17.5
13	医療対策	54.9
14	保健対策	19.8
15	男女共同参画の推進	3.9
16	農林業の振興	14.3
17	食料の安定供給の確保・食の安全確保	33.7
18	商工業の振興	10.6
19	観光の振興	13.4
20	雇用の安定と勤労者の福祉	46.6
21	住宅・宅地対策	7.9
22	資源エネルギー対策	18.5
23	下水道の整備	9.7
24	公園・緑地・河川の整備	12.2
25	公共交通ネットワークの整備	12.4
26	道路の整備	20.6
27	地域情報化の推進	4.6
28	防災対策の推進	25.9
29	防犯対策	26.7
30	交通安全対策	20.5
31	消費生活の安定	35.0
32	自然保護・環境保全対策	19.6
33	循環型社会の推進（リサイクル・廃棄物対策）	14.8
34	行財政改革	10.0
35	“とちぎ”ブランド力の強化	16.0
36	その他	1.5
37	わからない	1.1
	(無回答)	1.6



全体で見ると、「高齢者福祉対策」(58.0%)と「医療対策」(54.9%)、「雇用の安定と勤労者の福祉」(46.6%)の3項目が高く、次いで「子育て・少子化対策の充実」(35.5%)、「学校教育の充実」(35.1%)、「消費生活の安定」(35.0%)、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」(33.7%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

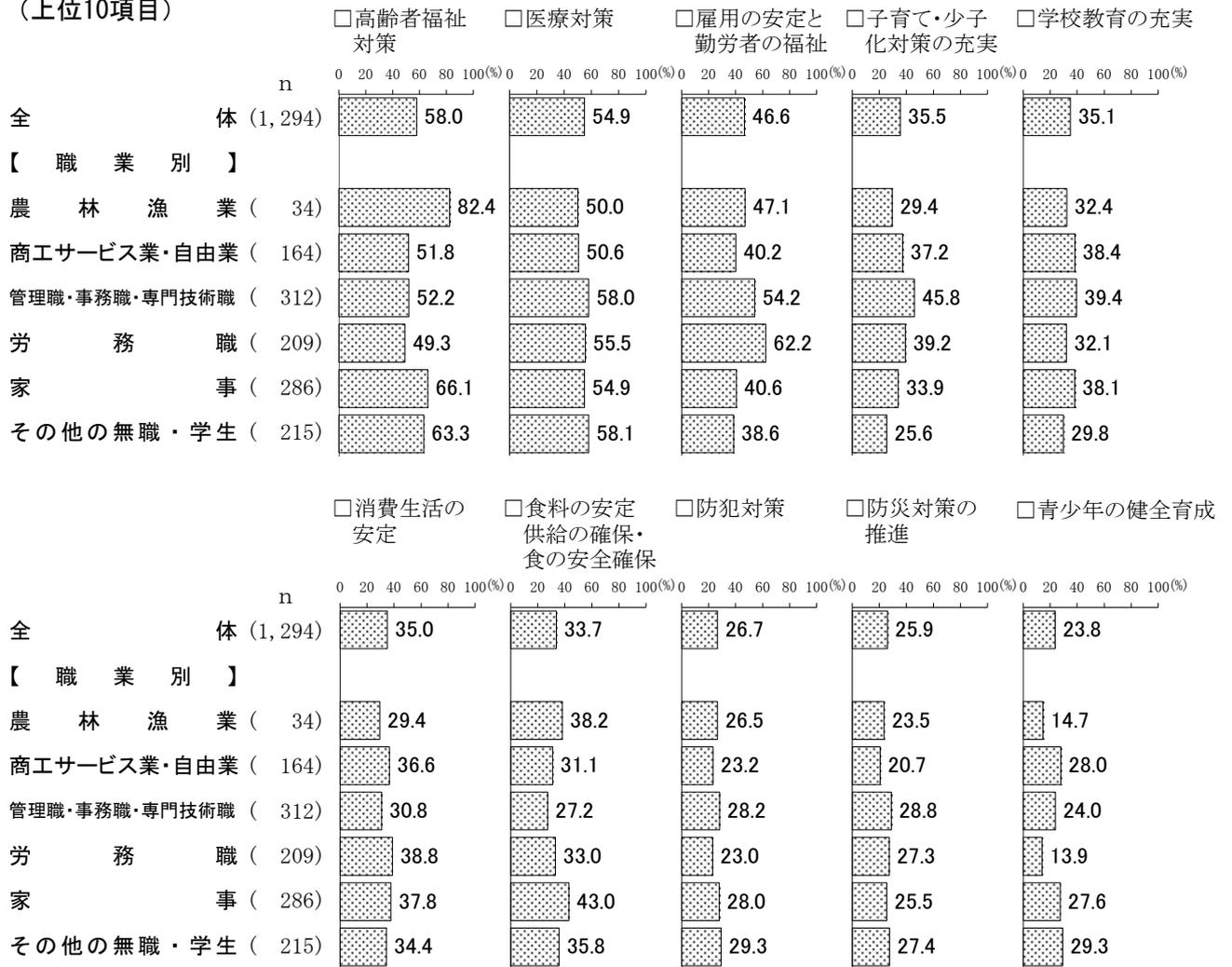


性別でみると、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では〈女性〉(39.4%)が〈男性〉(28.1%)より11.3ポイント高く、「消費生活の安定」では〈女性〉(38.3%)が〈男性〉(31.7%)より6.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「高齢者福祉対策」では〈男性70歳以上〉が80.6%、〈女性65~69歳〉が77.5%、〈女性70歳以上〉が76.2%と高くなっている。「雇用の安定と勤労者の福祉」では〈女性50歳代〉が63.4%と高くなっている。「子育て・少子化対策の充実」では〈女性30歳代〉が68.5%と高く、「学校教育の充実」では〈女性30歳代〉が59.6%と高くなっている。「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では〈女性65~69歳〉が52.5%と高くなっている。

[職業別]

(上位10項目)



職業別でみると、「高齢者福祉対策」では〈農林漁業〉が82.4%と高くなっている。「雇用の安定と勤労者の福祉」では〈労務職〉が62.2%、「子育て・少子化対策の充実」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が45.8%、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では〈家事〉が43.0%と高くなっている。

[過去の調査結果]

(上位5項目)

年\順位	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年	高齢者福祉対策 58.0%	医療対策 54.9%	雇用の安定と勤労者の福祉 46.6%	子育て・少子化対策の充実 35.5%	学校教育の充実 35.1%
平成24年	高齢者福祉対策 55.8%	医療対策 52.9%	雇用の安定と勤労者の福祉 48.7%	消費生活の安定 38.1%	食料の安定供給の確保・食の安全確保 37.8%
平成23年	高齢者福祉対策 57.0%	医療対策 54.1%	雇用の安定と勤労者の福祉 50.0%	食料の安定供給の確保・食の安全確保 35.2%	消費生活の安定 35.0%
平成22年	高齢者福祉対策 62.1%	医療対策 57.1%	雇用の安定と勤労者の福祉 53.3%	消費生活の安定 36.4%	食料の安定供給の確保・食の安全確保 34.5%
平成21年	医療対策 65.1%	高齢者福祉対策 62.8%	雇用の安定と勤労者の福祉 47.3%	消費生活の安定 41.6%	食料の安定供給の確保・食の安全確保 37.5%
平成20年	高齢者福祉対策 62.9%	医療対策 60.7%	消費生活の安定 44.3%	食料の安定供給の確保 41.6%	防犯対策 39.2%
平成19年	高齢者福祉対策 62.6%	医療対策 57.6%	防犯対策 36.3%	雇用の安定と勤労者の福祉 35.8%	学校教育の充実 35.6%
平成18年	高齢者福祉対策 55.2%	医療対策 51.4%	防犯対策 40.3%	子育て・少子化対策の充実 37.2%	雇用の安定と勤労者の福祉 36.8%
平成17年	高齢者福祉対策 56.3%	医療対策 51.0%	防犯対策 43.6%	青少年の健全育成 37.9%	雇用の安定と勤労者の福祉 37.6%
平成16年	高齢者福祉対策 55.1%	医療対策 45.6%	雇用の安定と勤労者の福祉 39.7%	防犯対策 35.9%	青少年の健全育成 34.3%
平成15年	高齢者福祉対策 55.6%	医療対策 46.7%	雇用の安定と勤労者の福祉 41.5%	青少年の健全育成／防犯対策 34.1%	
平成14年	高齢者福祉対策 57.1%	医療対策 48.3%	雇用の安定と勤労者の福祉 41.7%	青少年の健全育成 34.5%	廃棄物の処理対策 32.7%
平成13年	高齢者福祉対策 51.7%	青少年の健全育成 43.6%	廃棄物の処理対策 42.0%	医療対策 39.9%	雇用の安定と勤労者の福祉 36.2%
平成12年	老人福祉対策 41.5%	青少年の健全育成 39.3%	廃棄物の処理対策 34.1%	学校教育の充実 34.0%	雇用の安定と勤労者の福祉 31.3%
平成11年	老人福祉対策 46.5%	廃棄物の処理対策 42.8%	医療対策 39.2%	雇用の安定と勤労者の福祉 39.1%	青少年の健全育成 35.5%

※平成12年まで「高齢者福祉対策」は「老人福祉対策」

平成12年まで「消費生活の安定」は「消費者保護対策」

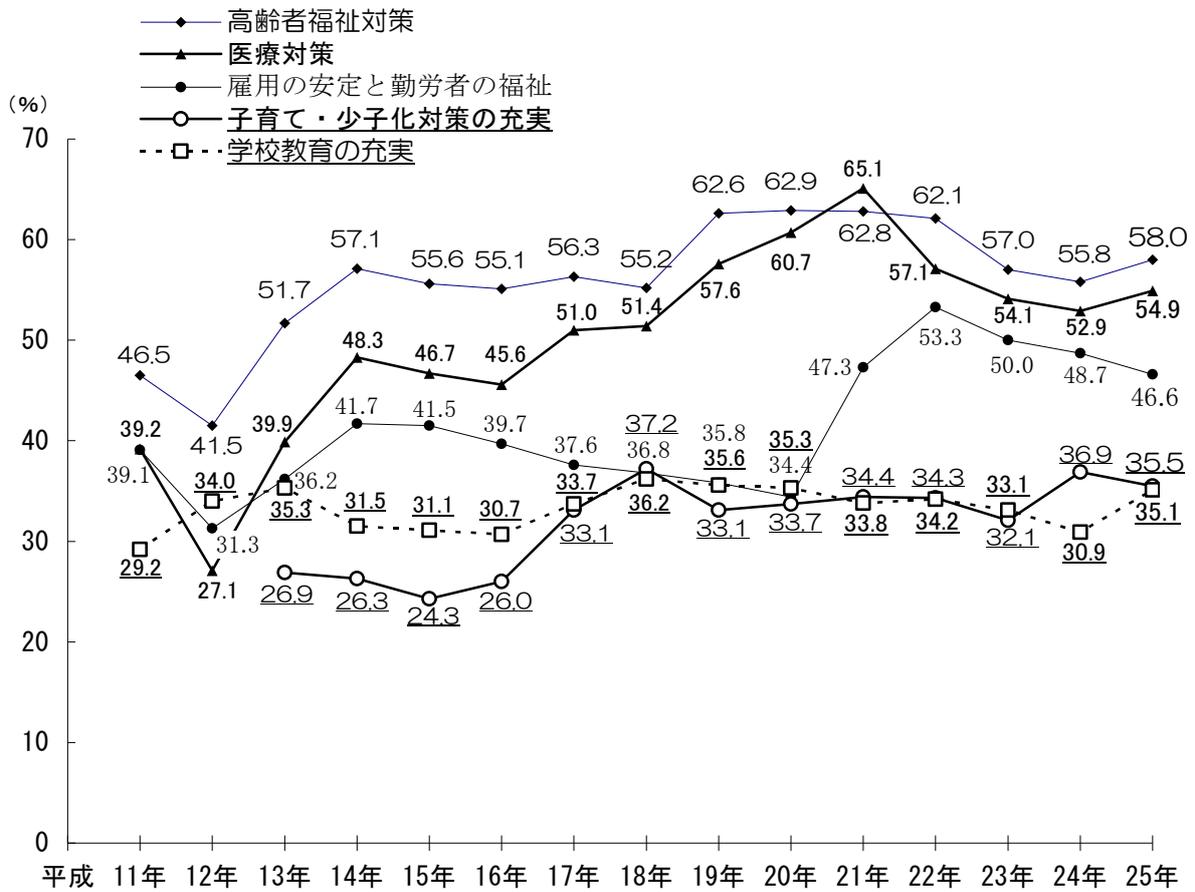
平成20年まで「食料の安定供給の確保・食の安全確保」は「食料の安定供給の確保」であり、平成13年より加わった選択肢である。

「子育て・少子化対策の充実」は平成13年より加わった選択肢である。

上位5項目を過去の調査結果と比較すると、上位3項目は平成22年以降同じ順位となっている。また、「子育て・少子化対策の充実」は平成18年以来、「学校教育の充実」は平成19年以来の上位5項目となっている。

[過去の結果の推移]

(上位5項目)



※平成12年まで「高齢者福祉対策」は「老人福祉対策」
 平成12年まで「消費生活の安定」は「消費者保護対策」
 平成20年まで「食料の安定供給の確保・食の安全確保」は「食料の安定供給の確保」であり、平成13年より加わった選択肢である。
 「子育て・少子化対策の充実」は平成13年より加わった選択肢である。

上位5項目について比率の推移をみると、1位の「高齢者福祉対策」は前回（平成24年）より2.2ポイント、2位の「医療対策」は前回（平成24年）より2.0ポイント増加している。3位の「雇用の安定と勤労者の福祉」は前回（平成24年）より2.1ポイント、4位の「子育て・少子化対策の充実」は前回（平成24年）より1.4ポイント減少している。5位の「学校教育の充実」は前回（平成24年）より4.2ポイント増加している。